年間授業計画

高等学校 令和８年度（２学年用） 教科　家庭科　科目 家庭総合

教　科：家庭科　　科　目：家庭総合　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　H1 組～　A　組

教科担当者：（H1組：三宅・高橋）（H2組：三宅・高橋）（F組：三宅・高橋）　（A組：三宅・高橋）

使用教科書：（ 教育図書「ウェルビーイングにつなぐ　家庭総合」 ）

教科　家庭科　の目標：生活の営みに係る見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を通して，様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などについて，生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目　家庭総合　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などについて，生活を主体的に営むために必要な知識を科学的に理解しているとともに，それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を発見し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元　A編 第１章 生涯の生活設計１ 【知識及び技能】 生涯発達の視点から各ライフステージの特徴・課題とそれに対応した意思決定の必要性について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 発達課題や様々な生き方、意思決定の重要性などに関連付けて、自分の考えを論理的に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯発達の視点で各ライフステージごとの発達課題に関心をもち，学習活動に取り組むことができる。	・指導事項 自分の将来について生活設計する ・教材 教科書・資料集・プリント ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・これからの人生で起こりうるライフイベントについて理解している。 【思考・判断・表現】 これからの自分の人生について想像し，まとめたり発表したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 人生の目標達成のために必要なことや考えられるリスクについて自ら調べようとしている。	○	○	○	12
	B 単元　A編 第２章青年期の自立と家族・家庭 【知識及び技能】 青年期の５つの自立について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分自身のアイデンティティとなる内面について見つめ直し、まとめたり発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 家族・家庭と社会との関わりに関心をもち，男女が協力して家庭を築くという視点から学習活動に取り組もうとしている。	・指導事項 現在の家族を取り巻く状況 男女雇用同参画社会 成年年齢 ・教材 教科書・資料集・プリント ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 生活に関わる法律の基本的な趣旨，家庭生活を支える社会制度について理解している。 家族・家庭に関わる法律や福祉について理解している。 【思考・判断・表現】 ワーク・ライフ・バランスの視点から，職業労働のあり方について考え，まとめたり，発表したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 青年期の課題や家族・家庭についての学習を自分の問題として捉えようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2学期	C 単元B編第２章　衣生活と健康 【知識及び技能】 被服の機能について理解する。 衣服づくりの手順を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 必要に応じた材料や手順を選ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 社会的慣習に適応しながらも自己実現する着装の工夫をし，着用の目的に応じて健康的な衣服選択と着装をしようとしている。	・指導事項 衣服を選ぶ 衣服の手入れ 衣服の保管 衣服づくり ・教材 ・教科書・資料集・プリント ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 繊維の種類と特徴を理解している。 三原組織や編物の構造を理解している。 平面構成と立体構成の特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 衣服の機能や繊維の性質などについて他教科の知識などを活用して科学的に考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 被服製作実習に意欲的に取り組もうとしている。 被服材料に応じた被服の整理や管理について考えようとしている。	○	○	○	28
	定期考査			○	○		1
3学期	D　単元C編第1章 生活における経済の計画 【知識及び技能】 家計における収入と支出について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 家計管理について具体的な事例を通してシュミテーションすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 収入と支出のバランスを考え、自分の家計棒をつけるなど工夫することができる。	・指導事項 消費者被害 金融教育 家計のしくみ ・教材 ・教科書・資料集・プリント ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ・契約や消費者信用，多重債務などの問題について具体的に認識し，消費者として適切な判断ができる。 【思考・判断・表現】 ・消費者の責任について考え，今後の課題と解決方法について発表したり，意見交換したりすることができる。 ・持続可能な社会のためにできる消費行動のあり方について，新聞，書籍，インターネット，自身や周囲の生活から具体例を収集し，まとめたり，発表したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・消費者の権利と責任に関心を持ち，現代の消費生活と資源・環境や持続可能な社会についても考えようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画

高等学校 令和８年度（３学年用） 教科　家庭科　科目 家庭総合

教　科：家庭科　　科　目：家庭総合　　単位数：2　単位

対象学年組：第　3 学年　H1 組～　A　組

教科担当者：（H1組：高橋・三宅）（H2組：伍井・三宅）（F組：高橋・三宅）　（A組：伍井・三宅）

使用教科書：（ 教育図書「未来へつなぐ　家庭総合３６５」 ）

教科　家庭科　の目標：生活の営みに係る見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を通して，様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などについて，生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目　家庭総合　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などについて，生活を主体的に営むために必要な知識を科学的に理解しているとともに，それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を発見し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元　B編 第１章 食生活と健康 【知識及び技能】 調理の基本的な技術を身につけ，安全や衛生面に配慮した調理ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 年齢，性別，宗教など様々な背景や考え，相手に配慮した献立について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力し、互いに助けいながら実習に意欲的に参加する。	・指導事項 調理実習 第1回中華 第2回和食 第3回洋食 献立作成 ライフステージに合った食生活 食中毒と安全 ・教材 ・教科書・資料集・プリント ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 食中毒や食物アレルギーについて理解し，健康・安全を考えた調理をすることができる。 各ライフステージごとの食生活の課題と改善策について理解している。 【思考・判断・表現】 栄養素の性質や食品の調理性などについて他教科の知識などを活用して科学的に考えている。 調理実習や実験を通して、科学的な視点から調理を行ったり、アレルギーや環境などに配慮したりと、調理を工夫することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現在・将来の自分自身や，家族にとっての食生活の課題を自分ごととして捉え，食生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
2学期	B 単元　B編　第３章 住生活と住環境 【知識及び技能】 地震などの災害に備えたり，家庭内事故の要因を理解したりするなど，安全な住居についての基礎知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 住居の平面図を読み取り、各ライフステージに応じた住居について考え、意見を発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 私たちの暮らしが地域とつながっていることを知り，まちづくりに参加する意欲を持つ。	住空間の計画 平面図作成 快適な住環境の整備 災害について考えよう ・指導事項 ・教材 ・教科書・資料集・プリント ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 安全で快適な住生活を送るための知識を身に付け，環境にも配慮した住生活について理解している。 住む人々の各ライフステージごとの変化や住宅に求める事柄の変化について理解している。 住居の平面図を読みとることができる。 【思考・判断・表現】 住んでいる地域のハザードマップなどを参考にしながら、防災への備えについてまとめたり発表したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 住まいの役割について、自身の生活を振り返りながら考えようとしている。	○	○	○	15
	C 単元　A編 第３章 子どもの生活と保育 【知識及び技能】 親の役割や愛着の大切さ，生命の尊さ，子どもを生み育てることの意義を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 親の役割や子どもを生み育てることの意義について考え，まとめたり，発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 将来，保育に関わる存在であることを理解させ，自分ごととして学習に取り組む姿勢を育てる。	子どもの成長の特徴 親の役割 現在の日本の子育て事情 絵本製作 調理実習 第４回幼児のおやつ ・教材 ・教科書・資料集・プリント ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 子どもを取り巻く環境整備と社会全体で子育てを支援する必要性を理解している。 子どもの権利と福祉について理解している。 【思考・判断・表現】 子供の発達段階を理解し、発達段階に合わせた絵本を製作し、読み聞かせをすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分が将来，保育に関わる存在であることを理解し，自分ごととして学習に取り組んでいる。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
3学期	D 単元　A編 第４章 高齢期の生活と福祉 【知識及び技能】 高齢者の生活や，社会的な支援のあり方について考える。 【思考力、判断力、表現力等】 社会保障制度のしくみや他国の現状を知り，自分なりに考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 人生の一時期として高齢期を捉え，自分の将来像としての高齢期について考える。	高齢者介護体験 認知症について知る ・教材 ・教科書・資料集・プリント ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 高齢者の心身の特徴について理解している。 高齢者の生活を支える制度や地域社会のしくみについて理解している。 【思考・判断・表現】 高齢者の自立した生活を支えるために，家族・地域・社会の役割を具体的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢者の生活に関心をもち，未来の自分の生活としてとらえ，意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画

高等学校 令和８年度（３学年用） 教科　家庭科　科目 服飾手芸

教　科：家庭科　科　目：服飾手芸　単位数：2　単位

対象学年組：第　3 学年　H1 組～　A　組

教科担当者：（H1組：三宅　）　（H2組：三宅　）　（F組：三宅　）　（A組：三宅　）

使用教科書：（ 教育図書「未来へつなぐ　家庭総合３６５」　）

教科　家庭科　の目標：被服の構成，被服材料の種類や特徴，被服製作などについて体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付ける。

【知識及び技能】和服製作を通して平面構成衣服についての理解を深め，基本的な知識・技術を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】製作に必要な技法を習得し，それを自分の表現することができる。目的に応じたデザインの決定を行い，課題の実現にむけて，計画的に実習できる。

【学びに向かう力、人間性等】技法の学びや実践をとおして，作品制作に積極的に取り組んでいる。

科目　服飾手芸　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
被服の構成，被服材料の種類や特徴，被服製作などについて体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。	被服製作やデザインに関する課題を発見し，ものづくりを楽しみ、創造的に作品を製作する力をつける。	衣生活の充実を目指して自ら学び，服飾手芸に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元 【知識及び技能】 和服の歴史を踏まえながら，伝統的な名称や，和服地，柄合わせなど和服の素材について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 布調べ・地直し，しるしつけ，基礎縫いなど，学んだ基礎的な技法を表現して製作に取り組むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 基礎的知識と技術を積極的に学ぼうとしている。	和服の基礎 クロスステッチ製作 平面構成 甚平製作	【知識・技能】 和服の製作を通して平面構成衣服についての理解を深め，基本的な知識・技術を習得する。 【思考・判断・表現】 和服の種類に応じた技法を習得し，それを自分の製作する作品に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 技法の学びや実践をとおして，作品制作に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	26
2学期	B 単元 【知識及び技能】 ・裁断，縫製に関する基礎的な事項を理解し，技法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 計画した衣服を製作するためにどの布地が適切かを考えることができる。 また，選んだ布地の性質や特性を理解した上で縫い方や断ち方，地直しを考えることができる。。 また，選んだ布地の性質や特性を理解した上で縫い方や断ち方，地直しを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 着用目的や着用者に合わせて，素材・デザインを決定し，パターン（型紙）を作成し，裁断・縫製を行い形としてつくりあげる一通りの製作過程を意欲的に計画している。	甚平製作 自由製作課題計画 自由製作課題製作 ・計画表の作成 （題材・材料選定→採寸→裁断→しるしつけ→縫製） ・実習（作品製作）	【知識・技能】 自由製作課題を製作するための必要な裁断縫製に必要な知識を理解し，技法を習得する。 【思考・判断・表現】 計画した自由製作課題を製作するためにどの布地が適切かを考えることができる。 また，選んだ布地の性質や特性を理解した上で縫い方や断ち方，地直しを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 着用目的や着用者に合わせて，素材・デザインを決定し，パターン（型紙）を作成し，裁断・縫製を行い形としてつくりあげる一通りの製作過程を意欲的に計画することができる。	○	○	○	32
3学期	C 単元 【知識及び技能】 ・裁断，縫製に関する基礎的な事項を理解し，技法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 計画した衣服を製作するためにどの布地が適切かを考えることができる。 また，選んだ布地の性質や特性を理解した上で縫い方や断ち方，地直しを考えることができる。。 また，選んだ布地の性質や特性を理解した上で縫い方や断ち方，地直しを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 着用目的や着用者に合わせて，素材・デザインを決定し，パターン（型紙）を作成し，裁断・縫製を行い形としてつくりあげる一通りの製作過程を意欲的に計画している。	自由課題製作 ・計画表の作成 （題材・材料選定→採寸→裁断→しるしつけ→縫製） ・実習（作品製作）	【知識・技能】 自由製作課題を製作するための必要な裁断縫製に必要な知識を理解し，技法を習得する。 【思考・判断・表現】 計画した自由製作課題を製作するためにどの布地が適切かを考えることができる。 また，選んだ布地の性質や特性を理解した上で縫い方や断ち方，地直しを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 着用目的や着用者に合わせて，素材・デザインを決定し，パターン（型紙）を作成し，裁断・縫製を行い形としてつくりあげる一通りの製作過程を意欲的に計画することができる。	○	○	○	12
							合計 70